

議 第 9 号 議 案

横田基地へのC V - 2 2 オスプレイ配備の撤回を求める意見書の
提出について

横田基地へのC V - 2 2 オスプレイ配備の撤回を求める意見書を別紙のと
おり、富士見市議会会議規則第 1 3 条の規定により、提出します。

平成 2 7 年 6 月 1 6 日 提出

富士見市議会議長 津 波 信 子 様

提出者	富士見市議会議員	川 畑 勝 弘
賛成者	同	加 藤 久美子
	同	大 谷 順 子
	同	寺 田 玲
	同	小 川 匠

提 案 理 由

横田基地へのC V - 2 2 オスプレイ配備の撤回を求める意見書を地方自治
法第 9 9 条の規定に基づき政府に対して提出するため、この案を提出します。

横田基地へのC V - 2 2 オスプレイ配備の撤回を求める意見書

2015年5月12日、防衛省及び外務省は、米国政府から米空軍横田基地に垂直離着陸機C V - 2 2 オスプレイを配備すると正式発表しました。

オスプレイは、複雑な構造で、1989年の飛行開始以来墜落事故を繰り返し、多くの乗務員が命を失っています。つい最近も、5月17日には、米海兵隊のMV - 2 2 オスプレイが、米ハワイ州の米軍基地で着陸失敗・炎上事故を起こし、乗員2人が死亡するという痛ましい事故が起きました。このたび配備が打ち出されたC V - 2 2 オスプレイは特殊作戦用でMV - 2 2 オスプレイよりも、重大事故の発生率が米軍・防衛省の統計によっても少なくとも3倍以上高いと言われてています。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、基地周辺は住宅や学校や病院などの公共的施設が多く存在しています。ひとたび墜落事故などが起これば人命にかかわる大惨事となります。これまでも周辺住民は、航空機騒音に悩まされ、航空機の部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などから、日常生活での不安が続いています。今回のC V - 2 2 オスプレイが配備されれば、横田基地が戦闘の出撃基地に変貌してしまいます。そうなれば、周辺住民の命、生活を大きく脅かすこととなります。したがって、オスプレイの配備を絶対に許すわけにはいきません。

よって、富士見市議会は、政府に対し、住民の命と安全、平和を守るため、米空軍横田基地への特殊作戦用の垂直離着陸機C V - 2 2 オスプレイ配備の撤回を求める意見書を提出することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月 日

富士見市議会

内閣総理大臣 安倍 晋 三 様
防衛大臣 中 谷 元 様
外務大臣 岸 田 文 雄 様